

令和7年度笠松町内会活動計画(案)

<テーマ> 町内会活動の改革～次期3カ年計画～

<現状>

1. 日本全国での状況

「自治会活動曲がり角」※2023年4月9日付け朝日新聞朝刊1・2面

(1)「住民から見た自治会」朝日新聞アンケート結果

- [認知度] そもそも存在を知らない、何をしているか不明
- [魅力度] メリットが不明、若者が入りたいと思う魅力がない
- [閉鎖度] 収支不透明、内輪だけで活動している（ように見える）
- [排他度] 上意下達、新参者やよそ者、女性、若者などの声が通らない
- [硬直的] 過去のやり方に固執、変化に対応せず、改革が進まない
- [負担感] 役の負担が重い、何をさせられるか不明
- [抵抗感] 知り合いがいない、若者が少なく入りにくい

(2)社会環境や住民ニーズの変化

- ①価値観やライフスタイルの多様化
- ②定年延長、共働き世帯の増加
- ③集合住宅の増加
- ④非正規雇用、単身世帯の増加

※金銭的・時間的・精神的ゆとりがない人も

2. 笠松町内会活動

(1)笠松町内会3カ年活動状況

- ① 入会への障壁の引き下げ
 - a. 町内会加入パンフレットの作成・配布（サノポ等特典のPR）
 - b. 入町費の撤廃・町会費の見直し
- ②子供会休止対応
 - a. りんくう花火大会への招待等、各種イベントのPR
 - b. 第一小学校行事への参画（入学式・卒業式・運動会・昔遊び・懇談会・見守り活動など）
- ③ 長生会活動への支援拡大、補助金増額（25万円/年）

(2)現状課題

- ①空き家の増加と宅地開発の拡大による住民の入れ替わり、顔の知らない人々
- ②外国人の増加（住民・旅行者など）、挨拶・声かけができない環境
- ③ 住民の高齢化による班長等の役職忌避のための退会

<対策>

- 1. 日本各地での改革の流れ

(1)女性自治会・町内会会長の活躍

西東京市の女性自治会長比率 31.1% VS 泉佐野市 9.6%

(2)デジタル化事例

- ① paypay 導入事例（横浜市）

会費やイベントでの支払いで集金の負担やリスクの軽減

- ②市の LINE 活用（宇治山田市）

LINE「街のれんらく」で道路や樹木、公園遊具の損傷や鳥獣の死骸の情報提供に空き家の通報項目（防火・防災・防犯状況など）を追加 ※1割が空き家

- 2. 笠松町内会での検討内容案

(1) 役の負担軽減・見直しの方向性

- ① 会議・・・オンラインの活用・併用、開催曜日・時間帯の配慮、メール活用
- ② 役割の見直し・・・班長の負担軽減（会費徴収方法・回覧板）

③ サポート体制・・・PTA 組織との連携・顧問制度・サポーター制度（ボランティア活用）・実行委員会形式

- ④外部委託・・・シルバー人材センターなど

(2)運営方法の見直し

- ①会計ルール（受益者負担の検討）
- ②法律に基づいた組織運営

3. 3か年計画

(1)3年後の目指すべき姿

若い世代のボランティアが自主的・積極的に取り組む自治活動

(2)優先順位

- ①地域デビューの子供たち、若い世代の呼び込み
- ②義務から参加へ

(3)若い世代の意見を取り入れた3か年計画の策定

4. 令和7年度計画骨子

(1)新3か年計画の初年度の取り組み

①新規企画にチャレンジする仲間作り

a.ボランティアの募集

b.参加者の募集（キッズダンス・フリマ・ガレッジセール等）

c.勉強会・講習会の開催

② 第一小学校・PTA との連携によるネットワークの構築

③ 外国人との交流機会の設定（夜間中学との連携）

(2)EXPO2025 大阪・関西万博対応

①長生会も含め5回の泉佐野市招待日対応

※4/23・5/23・6/19・7/9・8/12

②第1回（4/23）招待者情報の集約と課題対応

③関連情報（非公開）

a.「まるかじり JAPAN」事業での光の賑わい創出（300発の花火）

5/24・6/7・7/26・10/13 ※10/13のみドローンショー(300機)開催

b.「2025年日米姉妹都市サミット」9/16～9/19 ゲートタワー

姉妹都市：デイリーシティ（サンフランシスコ）

9/16には7000発の花火の予定

5. 令和7年度行事予定

別紙参照

以上